研究所アドバンスドセミナー

院内職員のどなたでも来聴歓迎です

講師：

西村　俊哉　先生

大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点
（兼任）医学系研究科　器官システム創生学
特任講師（常勤）

講演タイトル：

「キメラ技術を用いた異種個体内での臓器作出およびその応用」

概要：

幹細胞研究の発展にともない臓器発生の研究は大きく進歩し、オルガノイド技術を用いることでミニチュア臓器を培養皿上で創るまでに至った。しかしながら、幹細胞研究の究極ともいえる、生体臓器と同様の機能および組織構造を有した幹細胞由来臓器を作出する技術は開発されていない。近年、異種動物の胎生臓器ニッチを利用して多能性幹細胞（ドナー）由来の臓器を誘導する試みがなされている。胚盤胞補完法に代表される本技術は、特定の臓器欠損を誘導したホスト動物胚あるいは臓器ニッチに異種由来のドナー細胞を移植し、本細胞にてこれら臓器を補完することでドナー細胞で構成された臓器を誘導する手法であり、生体臓器と同様の機能と組織構造を有した臓器を作製する方法として注目されている。

本セミナーでは、キメラ技術を用いた異種個体内での幹細胞由来臓器・組織構築についての最新の知見を紹介するとともに、私たちの研究についてもお話しさせて頂ければと思います。

日時：　令和7年1月23日（木）　16:00 から
場所：　研究所6階　会議室

問い合わせ：研究所　藤木　　内線5402